

令和2年度 自衛隊家族会事業報告

1 全 般

我が国を取り巻く安全保障環境は流動的かつ不透明な状況が継続し、自衛隊は我が国周辺海空域の常時継続的な警戒監視を行いつつ、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動及び中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動のための海自部隊の派遣を継続する等、引き続き国内外で多様な任務を遂行した。また、連続した台風等の自然災害への対応の他、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大防止のための災害派遣等、幅広い活動を行った。

一方、自衛官の募集をはじめとする人的環境の厳しさに大きな変化はなく、任務の多様化と相まって、部隊も隊員も職種の枠にとどまらず様々な役割、任務に対応することが求められた。

このような状況の下、本会は、自衛隊員の最も身近な存在として自衛隊を支えるべく、計画した各種事業を概ね計画通りに実施した。これにより「自らの国は自ら守る」という防衛意識の普及・高揚を図るとともに、自衛隊員が誇りと自信を持って任務に邁進できる環境を整えるよう家族支援協力等の防衛基盤の確立・強化に寄与した。

2 主要事業の成果

(1) 公益目的事業

ア 公1「国民に対する防衛意識の普及・高揚事業」

(ア) 防衛講演会等

a 道央防衛講演会

令和2年度第1回防衛講演会は、9月24日（木）、道央自衛隊家族会が担当し、千歳市において、岩田清文氏（元陸上幕僚長）を講師として開催した。家族会会員はもとより、千歳市防衛協力4団体（自衛隊家族会千歳支部・隊友会千歳支部・自衛隊退職者雇用協議会千歳支部・千歳市防衛協会）及び現職自衛官（90人）など271人が熱心に聴講した。このうち約8割が、家族会員以外の参加者だった。

岩田講師は、「国際環境の変化と我が国の防衛」と題して講演し、「周辺国の軍事情勢」「新たな戦争領域・形態への進化」や「新たな兵器の登場」等の軍事情勢の変化を示した上で、防衛改革の具体的な内容やその重要性を明確にした。

講演会終了後、多くの聴講者からは、「国防の必要性・重要性がよく分かった。」「今後更に安全保障問題に関心と意識を持っていきたい」「大変満足であった。」などの感想が寄せられた。

b 岡山県防衛講演会

令和2年度第2回防衛講演会は、10月11日（日）、岡山県家族会が担当し、岡山市において、宇都隆史氏（参議院議員、外務副大臣、自衛隊家族会顧問、元航空自衛官）を講師として開催した。家族会会員はもとより、岡山県民、岡山県議会議員、岡山市議会議員、隊友会員など90人が熱心に聴講した。このうち約3割が、家族会員以外の参加者だった。

宇都講師は、「米中戦争の狭間をいかに生きぬくか？」と題して講演し、「力による現状変更を試みる中国」「米国を中心とした中国包囲網」「我が国を取り巻く安全保障情勢」について述べたのち、「令和3年度の防衛予算（概算要求）」についてその要点を説明した。

講演会終了後、多くの聴講者からは、「現在の安全保障環境がどのような状況か良く分かった」「米国との協力の重要性が良く分かった」「自衛隊のことがよく分かった」「タイムリーな内容であった」などの感想が寄せられた。

c 各県家族会が実施した防衛講話

各県家族会が計画・実施した講演会は、コロナウイルス感染拡大防止への考慮から8回（令和元年度76回、前年度比約90%減）であり、各地区会が計画・実施した講演会は、74回（令和元年度362回、前年度比約80%減）であった。家族会員以外の参加者は、各県家族会で約50%、各地区会等で約39%であった。

各県家族会は、地方協力本部及び部隊と連携し、時機に適した講話の実施に努め、防衛問題や自衛隊への理解促進を図った。また、所在地域の自衛隊指揮官による防衛講話を企画し、地元自衛隊部隊への理解促進にも努めた。

(イ) 防衛情報紙「おやばと」の発行及び拡販の推進等

a 紙面の充実

家族会が発行する防衛情報紙として、各自衛隊のトピックスなどを購読者にタイムリーに伝えるとともに、より魅力的でかつ会員及び現職自衛隊員のみならず広範な読者に有益な「おやばと」を目指し、特集記事を編集する等、より魅力的な紙面へ刷新するための努力を継続した。

内容については、専門的になりがちな安全保障関連の情報を一般の

読者にも分かり易く解説することを着眼とし、「駐屯地・基地の紹介」「地方協力本部勤務を振り返って」を新連載し、「家族会長等奮戦記」「回想 自衛隊の災害派遣など」「自衛隊発足の歩み」「美佐の新国防論」「米国事情」「健康の扉」及び「シニアの鉄人」等の連載を継続した。

号	特 集 記 事
4月	東京 2020 大会内定者（自衛隊体育学校 8 名が内定）
5月	北から南まで全国各地で入隊・入校式
6月	新型コロナに負けず（各教育部隊）、海自航空学生
7月	新型コロナに負けず（海外での活動）
8月	東京オリンピックに向けて（自衛隊体育学校長）
9月	災害派遣での予備自衛官等の活躍（令和 2 年度豪雨災害）
10月	法務官「法務専門幕僚としての機能発揮」
11月	海上自衛隊鹿屋航空基地
12月	航空自衛隊岐阜基地
1月	謹賀新年（会長挨拶）、陸上自衛隊旭川駐屯地、写真で振り返る令和 2 年
2月	入隊・入校予定者、そのご家族に向けて
3月	東日本大震災から 10 年（JTF 幕僚長の回想、多賀城駐屯地）、駐屯地・基地の桜の見所

b 拡販の推進

各県家族会は、会員以外の読者の拡大と会員の購読率の向上を狙って『おやばと』拡販ステップ・アップ作戦』に基づき、ステップ 3 作戦の初年度として、令和元年度の購読結果及び実態調査結果等に基づき、目標を再設定して引き続き購読者の増大に努めた。

(a) 購読率

会員の購読率向上については、51 県家族会中 25 県家族会が目標購読率を達成し、37 県家族会が令和元年度と比較して購読率を向上させた。本会全体としては、令和元年度と比較して 2.1% 増加の 66.5% の購読率となった。

(b) 購読数

「おやばと」の発行部数は、835,666 部（令和元年度 882,635 部）と前年度に比し 46,969 部減少した。「おやばと」拡販作戦による部数減少への抑制効果は得つつも、会員数の減少によ

り結果として部数の減少となった。

c 第3種郵便化の検討

各地域協議会で議論するとともに各県家族会の意見を聴取し、運営委員会において年間を通じて3種郵便化の是非・課題について議論を行い、第5回理事会において『令和3年度に、第3種郵便化の試行（期間は3年間とし、購読料は据え置き）に取り組む』ことが了承された。

d その他

「おやばと」紙上で掲載した回想シリーズを取りまとめた、「自衛官が語る災害派遣の記録」、「自衛官が語る海外活動の記録」の販売促進に協力した。

(ウ) その他

a 本会に対する理解を得るとともに、各事業の趣旨の普及等に寄与するため、ホームページの充実を図った。

b 本部及び各県家族会は、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）等を活用した連絡網の整備に努めた。また情報の発信、共有を効果的に行うため、本部ではFacebookの活用を開始した。

c 隊友会主催防衛セミナー等への協賛、協力

10月27日（火）、隊友会主催、家族会等が協賛し令和2年度防衛セミナーが、損保ジャパン日本興亜(株)本社講堂において「新型コロナウイルス禍等が我が国の安全保障に及ぼす影響」をテーマで実施され、福島香織氏と渡部恒雄氏が講演した。

新型コロナ感染防止のため参加者が制限され、家族会からは、土谷事務局長以下2人が参加した。

本セミナーは、ユーチューブで紹介され、従来の首都圏会員のほか全国の会員が聴講することができた。

また、隊友会本部が計画した「愛知県防衛セミナー」には愛知県自衛隊家族会が協賛する等、各県隊友会が実施した「防衛セミナー」等に各県家族会が積極的に協力し防衛意識の普及高揚に努めた。

イ 公2「自衛隊の諸活動に対する協力・激励事業」

(ア) 自衛隊が行う家族支援に対する協力

a 本会は、家族支援協力事業に関連する演習等に積極的に参加し、当該事業の深化を継続的に図った。

b 家族支援協力を資するため、会員証規則を制定し、会員証の交付を開始した。令和3年3月31日現在302名に配布した。

c 各県家族会は、地域毎の特性を生かしつつ、安否確認態勢の更なる

充実を図った。

- d 各県家族会の活動を支援するためのボランティア保険制度の定着化を図った。
- e 家族会会員の隊員たる家族の抱える問題等の相談窓口を新たに設置した。31件の問い合わせがあった。

(イ) 自衛隊が行う募集・就職援護活動に対する協力

- a 各県家族会は、年度当初から地方協力本部と緊密な連携を保持しつつ組織的支援協力態勢を整え、入隊・入校者激励会を主催するとともに募集及び援護情報の提供、地方協力本部が実施する行事への支援・協力等を行った。特に、「募集協力強調期間」を設定し、前半（7月～9月）は、地方協力本部と連携した組織的な募集情報提供等に協力し、後半（10月～12月）は採用試験合格者（内定者）の全員入隊を目指して地方協力本部が実施する内定者向け広報活動（つなぎ広報）に協力した。
- b 本年度は、1,435件（令和元年度1,149件）の募集情報及び68件（令和元年度66件）の援護情報を提供した。その結果、全国で入隊者203人（令和元年度258人）、就職者17人（令和元年度29人）の成果に結びついた。

特に、入隊に直結する情報提供については、8県の家族会（宮城、秋田、東京、新潟、茨城、鳥取、熊本、鹿児島）において成果を上げた。
- c 陸上幕僚監部主催の「募集協力者会同」は6月17日（水）に計画されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった。
- d 総合募集情報誌「Defense World 21」（2021年版、以下「DW21」という。）を19,700部発行した。

作成、編集にあたっては、以下の点に着意し、隊員募集・就職援護及び家族支援に寄与するとともに、わが国の防衛の考え方や自衛隊の各種活動について紹介した。

- ・前年版を基本に、自衛隊を目指す若者を主対象にしつつ、誰にでも自衛隊がよく分かるように作成
- ・自衛官ってどんな人達、防衛白書、家族の声、援護特集を更新
- ・我が国の安全保障・防衛政策、平和安全法制、防衛大綱、中期防等の分かり易い解説
- ・昨年度の自衛隊及び家族会の事業に関するビジュアル化（写真の多用）を重視

(ウ) 自衛隊が行う広報に対する協力

各県家族会は、会員をはじめ多くの人々に、自衛隊が実施する行事について日時、内容等の情報を提供するとともに、諸行事への参加の機会を利用して自衛隊が行う広報に協力した。その際、本部が作成した自衛隊家族会パンフレットや家族会カレンダーを活用した。

(エ) 隊員に対する慰問・激励

- a 本会は、演習・訓練に従事する部隊・隊員及びその家族を激励するとともに、陸・海・空自衛隊の各部隊等が実施した記念行事、音楽祭、慰霊行事等への参列、家族支援協力の訓練に参加した。
- b 「自衛隊の活動支援基金」については、各県家族会から引き続き自発的な寄附金を受け付けた。
- c 令和2年度遠洋練習航海部隊の出港行事及び同帰国行事は新型コロナウイルス感染防止等の観点から部内限りの行事となり、本年度の実習幹部・参加部隊隊員に対する慰問激励は中止した。
- d 11月7日(土)、令和2年度自衛隊殉職者追悼式が市ヶ谷駐屯地において執り行われたが新型コロナウイルス感染防止等の観点から部内限りの執行となり伊藤会長の参列はできなかった。今年度は、陸自14柱、海自8柱、空自2柱、他1柱、合計25柱が合祀された。

e 国際平和協力活動等派遣部隊・隊員に対する激励

番号	名称	時期	対象部隊等	実施家族会
1	第37次水上部隊	R2.9	ありあけ(5EF)	長崎県
2	第38次水上部隊	R3.1	せとぎり(14EF)	京都府
3	第40次航空隊	R2.9	第5航空群	沖縄県
4	第42次航空隊	R3.2	第5航空群	沖縄県
5	第14次支援隊	R2.6	中央即応連隊基幹	栃木県
6	第15次支援隊	R2.12	第50連隊基幹	高知県
7	第13次UNMISS 司令部要員	R2.8	情報・施設幕僚	本部
8	第14次UNMISS 司令部要員	R3.2	兵站・航空幕僚	本部
9	第2次MFO 司令部要員	R2.6	陸上総隊	本部
10	第3次中東派遣 水上部隊	R2.8	むらさめ(1EF)	神奈川県
11	第4次中東派遣 水上部隊	R2.12	すずなみ(7EF)	青森県

1 2	令和2年7月豪雨	R2.7	第4師団 第8師団	福岡県 熊本県
1 3	新型コロナウイルス 医療従事	R2.5	自衛隊中央病院	本部

新型コロナウイルス感染防止対策等により、次の部隊は辞退された。

派遣海賊対処行動 第36次水上部隊「おおなみ」(横須賀)

” 第39次航空隊(八戸)

” 第41次航空隊(八戸)

中東情報収集 第2次水上部隊「きりさめ」(佐世保)

(オ) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての協力

38県から887,380円の募金協力を得た。(令和3年3月31日現在)

(2) 国民運動への参加

ア 北方領土返還要求署名活動

北方領土返還要求運動連絡協議会の幹事団体として各種活動に積極的に参加した。

(ア) 北方領土返還要求署名活動を強力に推進し、一つの団体としては最も多い98,109人(令和元年度132,438人)の署名を得た。

(イ) 令和2年度北方四島交流訪問事業(ビザなし交流)は、日露双方の新型コロナウイルス感染防止対策等により中止された。

(ウ) 2月7日(日)、旧渋谷公会堂で開催された北方領土返還要求全国大会は、新型コロナウイルス感染防止対策により規模が縮小され、YouTubeによる大会映像の全国発信が行われ、全国会員にその様子を伝えることができた。

イ その他の国民運動

憲法改正に関する各種フォーラム等の開催に際し、情報の共有や憲法改正に関するパンフレット等の資料の紹介を行った。

(3) 会の充実を図る事業

ア 会勢の充実

「令和2年度県別目標入会率」については、4県家族会が目標を達成したものの、47県家族会が目標に到達できなかった。目標未達成家族会の内、11県家族会が昨年より上昇し、36県家族会が低下しており、全体の入会率は19%と元年度の23%より約4%下落した。全国の正会員数は、67,553人となり、元年度に比して2,235人減少した。

本部は、部隊長・地方協力本部長等機関の長に対して、「公益社団法人

自衛隊家族会が行う各種施策への協力の推進について」との陸幕長通知を基に、3年1月に各県家族会長（事務局長）に対し、令和3年度目標を提示するとともに、地方協力本部長と家族会入会意識調査アンケートに関し連携を密にし、その成果を新会員の入会促進に反映するよう依頼した。また、同時期に陸海空部隊長及び幹部候補生学校長に対して家族会への新会員入会促進協力について依頼した。

イ 各種手段及び機会を活用した本会の広報

(ア) 本部は「自衛隊家族会パンフレット」を令和3年1月に更新し、67,000部を作成配布した。更新までの間は各県不足分を確認しつつ、前回作成分から逐次追加配布した。各県家族会は、各県等で実施される入隊激励会等の場を利用してパンフレットを配布し広報に努めた。

(イ) 各種の活動の機会をとらえてロゴマーク、識別装着品等を使用し広報に努めた。

(ウ) 令和3年度「自衛隊家族会カレンダー」を3,689部作成・配布した。

(エ) 各県家族会は、それぞれの工夫により本会及び各県家族会の広報に努めた。

ウ 「自衛隊家族会活性化施策」の検討

真に「自衛隊を支えることができる組織」として会を充実発展させる為に、「組織の強化」、「会員の充実」及び「活発な活動」を主要検討項目として、「活性化施策検討委員会」を本部に設置し、各県家族会と一体となり継続的な検討を行った。

10月に計画した新任会長等研修会は中止した。

エ 個人情報保護法に基づく個人情報の管理

個人情報保護法の趣旨、運用要領等に基づき本会で作成した個人情報保護規則及び個人情報保護マニュアルの内容について、防衛情報紙「おやばと」の紙面を活用して広く会員に周知した。

オ 本会関連規則の整備

内閣府法人認定委員会からの立入検査時の指導に基づき各規則に改廃条項を追加する等、24規則を改正した。また、自衛隊家族会会員証規則を制定した。

カ 県家族会現地調査

本会組織の健全性を維持し、適切な活動を継続するため、東北2県に対して計画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

キ 問い合わせ窓口の設置

会の運営に関する会員からの疑問等に応えるための問い合わせ窓口を

新たに設置した。初年度の問い合わせは7件であった。

3 会議等

(1) 定期総会：10月5日(月)(場所：グランドヒル市ヶ谷)

- ・令和元年度事業報告・決算の承認等
- ・任期満了に伴う役員改選
- ・令和2年度事業計画・予算書の報告等
- ・令和元年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- ・会員証規則(報告)
- ・第3種郵便物化に伴う「おやばと」拡販の考え方(報告)
- ・東京オリンピック等募金の取り扱いについて(報告)
- ・家族会「問い合わせ窓口」上半期成果(報告)

(2) 理事会

ア 第1回 6月8日(書面決議：令和元年度事業報告・収支決算、辞任副会長の後任選任、辞任業務執行理事の後任選任、県自衛隊家族会長人事、運営委員人事、令和2年度定期総会開催の変更について)

イ 第2回 8月25日(任期満了に伴う役員改選(総会提案事項)、会員証規則、県自衛隊家族会長人事)

ウ 第3回 10月5日(月)(代表理事の選任、業務執行理事の選任、副会長の選任、家族会規則の改正、印章管理規則及び報告事項(令和3年度以降の現地調査実施計画、代表理事及び業務執行理事の業務報告))

エ 第4回 12月10日(書面決議：令和3年度自衛隊家族会事業計画(骨子))

オ 第5回 3月22日(月)(書面決議：令和3年度自衛隊家族会事業計画、令和3年度分担金、令和3年度収支予算、令和3年度定期総会の開催)

(3) 「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会：令和3年2月16日(火)

(4) 地域協議会

本部要望の議題の他、会員の拡大、地本・部隊との連携強化等について討議、意見交換を実施した。

地域	実施時期	開催地	主要議事等
北海道		書面協議	1 主要議事 ・本部指定討議テーマ おやばと第3種郵便物化の是非 ・各県テーマ
東北		書面協議	
北関東	9.13	安曇野市	
南関東	10.28	甲府市	
東海・北陸		書面協議	
近畿		書面協議	

中国		中止	・その他 2 講演
四国		書面協議	
九州・沖縄		書面協議	

(5) 運営委員会

毎月1回開催した。

4月、5月、1月の運営委員会は書面審議により実施した。

(6) 新任会長等研修会

新型コロナウイルス感染防止等のため中止した。

4 その他

(1) 賀詞交歓会

新型コロナウイルス感染対策等により中止した。

(2) 各県家族会細部活動状況

別紙「令和2年度活動状況調査表（集計）」